



植物の 不思議な 生き方

2024年
10.12 [Saturday]
13:00 - 17:00 (受付開始 12:40)

プログラム 01 開会挨拶

13:00-13:10 西谷 和彦 神奈川大学 理学部 (研究領域総括)

プログラム 02 「光合成をやめた植物のしたたかな生存戦略」

13:10-14:10 末次 健司 神戸大学 教授

プログラム 03 「操作された植物は昆虫を宿す」

14:20-15:20 平野 朋子 京都府立大学 准教授

プログラム 04 「薬で身を護る植物」

15:30-16:30 山崎 真巳 千葉大学 教授 (研究領域アドバイザー)

プログラム 05 研究者との交流会

16:40-17:30

プログラム 06 クロージング

17:30

2020年度にさきがけの研究領域として「植物分子の機能と制御(植物分子)」は発足しました。本研究領域は「植物分子」(植物由来化合物及びその関連遺伝子)を軸として、生体内及び生態系内の生命現象の解明と、その有効利用に資する基礎的知見の創出と革新技術の構築に向けた研究を推進しています。モデル植物のみならず、多様な植物を対象としている本研究領域の中から、今回は「植物の不思議な生き方」という視点から「植物の奇妙な力」に焦点を当てた最新の研究成果を紹介します。菌を駆逐して寄生する植物から、植物と昆虫の共生・寄生を成立させる共通分子の作用、さらには人間が薬として利用する分子で身を護る植物について、3人の研究者が研究事例を発表します。

このシンポジウムは社会の様々な方々に植物の多彩な生き方の神秘に触れて、理解を深めていただくことを目的に企画したものです。年齢やバックグラウンドを問いませんので、中高生や大学生から教員、研究者、社会人、それにシニアの方まで、皆様のご参加をお待ちしております。

参加登録

下記フォームより事前登録受付中、
当日会場での参加受付も可能です。
https://form.jst.go.jp/s/presto_pmol2024
(事前登録・10月11日(金)まで)



会場

京都三大学教養教育共同化施設
「稻盛記念会館」102講義室
【アクセス】
地下鉄烏丸線「北山」より徒歩5分

入場無料

学生・一般の方々の
ご来聴を歓迎します